

アオハダトンボ

Calopteryx japonica

兵庫県：Aランク

環境省：

種の概要

体長55～62mm程度。体色は金緑色で同属のハグロトンボに似るが、♂は翅に金属光沢があり腹端裏面が白いことで、♀は前翅の色がうすく白色の偽縁紋があることで区別できる。平地から丘陵地の、ある程度砂地があり、ヨシや沈水植物が繁茂する清流に生息する。成虫は5月～7月に見られる。



写真提供：二宗誠治

国内分布

本州、九州

県内分布記録

神戸市、宝塚市、三田市、たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、篠山市、丹波市

選定理由

| 人為性 | | 特殊生息環境 | 学術性 | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|----|
| 個体数激減 | 生息環境激変 | | 分布が極限 | 分布の限界 | 希少 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | | |



特記事項

清流を代表するトンボで、近年多発する洪水により多くの水草が流され、その後の河川災害復旧工事で河床が痛めつけられており、水草の復活を妨げている。このため個体数の減少が甚だしく、復活しない生息地も出てくると予想される。

保護上の留意点